

令和3年11月4日

各 位

丹沢大山自然再生委員会  
委員長 勝山 輝男

2021年度丹沢大山自然再生活動報告会の開催について（通知）

秋晴の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

当委員会は、丹沢の自然環境の保全と再生を目指している団体です。委員は、自然環境の専門家やNPO等団体、企業、マスコミ、行政機関等、多岐にわたる関係者で構成されています。

また、当委員会が関係する様々な自然再生の取組を多くの方々に周知するため、活動報告会を平成22年度から開催しています。

本年度の活動報告会は、別添のとおりオンラインで開催することとなりました。

つきましては、御多忙のところ恐縮ですが、添付資料をご覧ください、活動報告会への御出席をお願いするとともに、当委員会への参画についても御検討いただきますようお願いいたします。

なお、ポスターセッションの発表も可能ですので、こちらも併せて御検討いただきますようお願いいたします。

（添付資料一覧）

- ・【資料1】2021年度丹沢大山自然再生活動報告会のご案内（参加・発表等申込書含む）
- ・【資料2】丹沢大山自然再生委員会案内パンフレット
- ・【資料3】丹沢大山自然再生活動報告会実績一覧
- ・チラシ

問合せ先（事務局）  
神奈川県自然環境保全センター  
研究企画部自然再生企画課 田村、齊藤  
住 所 厚木市七沢 657  
電 話 (046) 248-0323（内線 204）  
ファクシミリ (046) 248-0737  
Eメール tamura.7qh1@pref.kanagawa.jp

## 2021 年度丹沢大山自然再生活動報告会のご案内

### 1 趣旨

丹沢大山における自然再生の取組について、丹沢大山自然再生委員会としてのこれまでの研究活動や再生活動等の報告と意見交換を行い、それぞれの自然再生のための研究及び再生活動の取組がより拡大、推進する機会とすることを目的とする。

### 2 日時

2021 年 12 月 18 日(土) 13 時 00 分～17 時 15 分  
(Zoom によるオンライン会議により開催)

### 3 時間割

13 : 00～13 : 05 開会とあいさつ

13 : 05～15 : 05 活動・研究発表 (ズームミーティング形式によるスライド発表またはポスター発表)

15 分×8 題=120 分 (発表 12 分、質疑応答 3 分)

15 : 05～15 : 35 休憩

15 : 35～17 : 15 総合討論

テーマ「近年起きている自然の脅威に対して自然再生の取組はどこまで対応可能か」

3 人の講演者による発表を行い、それを受けて再生委員会の委員からコメントをする。(各 20 分)

### 4 参加申込

申込締切 **2021 年 12 月 10 日 (金)**

申込方法 別添、参加申込書により、電子メールにより送付してください。  
再生委員会ホームページ(<https://www.tanzawasaisei.jp/>)からも申し込みできます。

申込先 丹沢大山自然再生委員会事務局  
(神奈川県自然環境保全センター研究企画部自然再生企画課)  
〒243-0121 神奈川県厚木市七沢 657  
電話 : 046-248-0323  
E-mail : info@tanzawasaisei.jp

参加費等 報告会参加費 : 無料

※ 参加を申し込まれた方には、締切日以降に Zoom ミーティング&ウェビナーの ID とパスワードをお知らせします

### 5 活動・研究発表 (ポスターセッション) 申込方法

申込締切 **2021 年 11 月 15 日 (月) 17 時 期限厳守**

申込方法 別添、ポスターセッション発表申込書により、電子メールにより送付してください。

申込先 上記のとおり

発表参加費 発表参加費：無料

## 6 ポスターセッション発表方法及び発表要旨の提出方法

- ・ ポスター発表は13：05～15：05のうち、1題につき15分を予定しています。  
(発表12分、質疑応答3分)
- ・ 発表要旨は、タイトル、発表者名、所属とともに、400文字程度で作成してください。  
(ファイル形式はwordでお願いします。)

提出期限：2021年11月22日(月)17時(期限厳守)

提出先：info@tanzawasaisei.jp

## 7 問合せ先

丹沢大山自然再生委員会事務局

(神奈川県自然環境保全センター自然再生企画課内)

電話：046-248-0323

E-mail：info@tanzawasaisei.jp

## 2021 年度丹沢大山自然再生活動報告会参加申込書

- ◆必要事項をご記入の上、  
丹沢大山自然再生委員会事務局の E-メール ([info@tanzawasaisei.jp](mailto:info@tanzawasaisei.jp)) までお送り  
ください。

氏名	
所属団体等	
電話番号	
メールアドレス	

- ◆個人情報の取扱いについて  
ご記入いただきました個人情報につきましては、丹沢大山自然再生活動報告会申込者  
名簿の作成などに活用させていただき、それ以外で双方の了承なしに第三者に開示  
することはございません。

問合せ・申込み

### 丹沢大山自然再生委員会事務局

(神奈川県自然環境保全センター自然再生企画課内)

電 話 : 046-248-0323

E-mail : [info@tanzawasaisei.jp](mailto:info@tanzawasaisei.jp)



# 2021 年度丹沢大山自然再生活動報告会

## ポスターセッション発表申込書

- ◆必要事項をご記入の上、  
丹沢大山自然再生委員会事務局の E-メール ([info@tanzawasaisei.jp](mailto:info@tanzawasaisei.jp)) までお送り  
ください。

テーマ		
説明者	所属	
	氏名	
申込者	所属	
	氏名	
連絡先	〒 住所： 電話又は携帯： E-mail：	
スライド・ポスターのホームページ掲載可否	可 ・ 否	
発表要旨	別途発表要旨を 400 文字程度で作成し、 <u>11 月 22 日（月）までに</u> 下記 E-mail へ送付してください。（word 形式）	

◆個人情報の取扱いについて

ご記入いただきました個人情報につきましては、丹沢大山自然再生活動報告会申込者名簿の作成などに活用させていただき、それ以外で双方の了承なしに第三者に開示することはありません。

問合せ・申込み

### 丹沢大山自然再生委員会事務局

(神奈川県自然環境保全センター自然再生企画課内)

電 話：046-248-0323

E-mail：info@tanzawasaisei.jp



## 神奈川の屋根 丹沢とは



丹沢山地 神奈川県

丹沢に降った雨は森で蓄えられ、川やダムなどを経て私たちの街や家まで届きます。  
丹沢は、動植物の命を育むと同時に、私たちの生活に欠かせない水を育む、貴重な財産です。

雨は森に蓄えられ

渓流を経て

川を経て

私たちの暮らしへ

## もっともっと 丹沢について知りたい方は

**ビジターセンター**  
自然観察などのイベントや、丹沢の自然や生き立ちについての展示などを行っています。  
・県立秦野ビジターセンター 電話：0463-87-9300 <http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawavc/>  
・県立西丹沢ビジターセンター 電話：0465-78-3940 <http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawavc/>

**神奈川県自然環境保全センター**  
神奈川県が取り組む自然環境の保全・再生に関する事業などについての情報がわかります。  
電話：046-248-0323  
<http://www.pref.kanagawa.jp/div/1644/>  
※丹沢に関する情報は「e-Tanzawa」をご覧ください。  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/148/>

私たちは丹沢の再生活動を応援しています。



お問い合わせ **丹沢大山自然再生委員会**  
(事務局：神奈川県自然環境保全センター 自然再生企画課)  
〒243-0121 神奈川県厚木市七沢 657  
電話：046-248-0323 (内線 298)



人も自然もいきいき 丹沢

<http://www.tanzawasaisei.jp/>  
<https://www.facebook.com/tanzawasaisei/>

このウェブサイトは、WEINSグループからの寄付金の一部により作成されました。

# 丹沢大山をめざして

人も自然もいきいきとした



丹沢大山自然再生委員会

**ワークスペースの開催**  
**森林の観察**

丹沢の現状を調査します

行政などが行う取組を調べ評価します

植物を守る柵の調査

柵の外  
柵の中

**丹沢の自然体験や学習に取り組めます**

現場での体験学習

森の学校

荒廃地への植樹

登山道の補修

ホームページ

イベント

ワークスペース

豊かな自然を取り戻すため現場で活動します

丹沢がかかえる問題を皆さまに伝えます

私たちの取組をさらに広げるために皆さまからの協力とご支援をよろしくお願い致します。

丹沢を元気にする活動に取り組めます

丹沢をよく見てよく知り再生を考えます

丹沢大山自然再生委員会

行政  
再生委員会  
企業  
NPO  
等団体

丹沢大山自然再生委員会とは

丹沢大山自然再生委員会は、丹沢の自然環境を保護し、見守りながら、豊かな自然への再生を目指す団体です。今、危機にある丹沢の、自然環境を守り再生するため私たちの取組を紹介いたします。

※委員会の構成メンバー／自然環境の専門家やNPO等団体、企業、地元、県や市町村などの行政機関等

私たちの二つの大きな取組

丹沢を元気にする活動に取り組めます

丹沢をよく見てよく知り再生を考えます

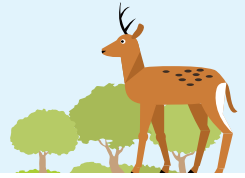
はじめまして





丹沢大山  
自然再生基本構想  
に基づき

多様な主体と協働しながら  
8つの特定課題の解決をめざしています  
丹沢の自然を守るため、ご協力とご支援をお願いします



1 プナ林の再生



光化学オキシダントなどによる大気の影響や土壌乾燥化による水分ストレス、大量発生したブナ/バチの摂食圧などによりプナ林が衰退しています。

2 人工林の再生



手入れ不足などにより、森林がもつ水源かん養機能や生物多様性などの公益的機能が失われています。

3 自然資源・地域資源を活かした地域の自立とつながりの再生



地域・農林業を支えてきた山麓の集落では、森林荒廃及び野生動物による農林業被害が増加しており、地域経済に深刻な影響を及ぼし、そこで暮らす人々の生活に影響が出ています。

4 渓流生態系の再生



渓流沿いで、土砂流出や、スギ/ヒノキなどの植林により、湖畔林が減少しています。また、災害防止や森林回復のための砂防・山崩れ防止などが生きものの生息域を分断しています。

5 シカの保護管理



手入れ不足の森林やシカの高密度化などにより、高標高域では植生の衰退が進み、里山では農林業への被害が増加しています。

6 希少動植物の再生



山頂部の特別保護地区を中心に希少な動植物が多く分布していますが、林床植生の衰退や土壌流出により急速に貴重な動植物の生息・生育環境が悪化しています。

7 外来種の除去



丹沢大山でも外来生物が、徐々に侵入域を広げています。これらの外来種は一旦侵入すると生態系に大きな影響を与える可能性があります。

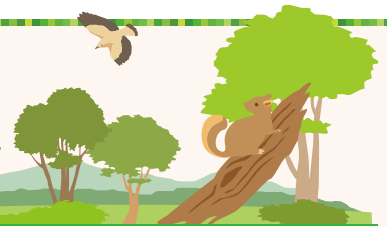
8 自然公園の適正利用



年間約30万人と推計される入山者が特定の登山道に集中し、登山道及びその周辺が荒廃するなど、オーバーユース問題が顕在化しています。

さまざまな  
取組により

丹沢の自然が少しずつ  
元気を取り戻してきています



人工林の整備

手入れ不足の人工林について、間伐などの森林整備を実施しています。また、渓流沿いの人工林を整備して広葉樹との混交林化を図っています。

▲手入れされていない人工林



▶整備中の様子

▲手入れの行き届いた人工林。林内に光が入ることで、林床に植物が生長するようになります。



シカの保護管理

シカの過密化により植生の衰退が見られる高標高域などで、密度を低減するためにシカを捕獲しています。



▶管理捕獲によりシカ密度が低下し、一部地域で植生回復が見られています。



植樹

県民ボランティアの皆さんも協力し、荒地へのブナ、ミズナラ、ヤマボウシなどの植樹活動を継続的にを行っています。



◀植樹活動



▲植樹後の様子

登山道の維持管理



踏みつけなどで荒廃し、水みちとなっているような登山道を補修するなど、維持管理を行っています。

▲登山道補修



▶施工後、登山道の踏みつけを軽減し、土壌浸食を防止することができます。



調査・モニタリング

取組の効果検証や、必要な取組の検討のため、神奈川県や団体により、様々な調査やモニタリングを実施しています。



▲気象観測装置



◀植生モニタリング

▲水質調査

私たちの暮らしを支える丹沢の豊かな自然を、みんなで守っていきましょう!





## 丹沢大山自然再生活動報告会実績一覧

区分	日時	場所	内 容	参加者数
第 1 回 (H22)	H23.1.22(土)	厚木商工会議所 5 階大会議室	丹沢再生に関わる団体、企業、行政が登山道補修や 巡視、植樹、自然教室などの取組みを発表し、意見 交換を行った。	135 名
第 2 回 (H23)	H23.10.30(日)	かながわ労働プ ラザ 3 階多目的 ホール	「見えてきた丹沢再生」をテーマに、丹沢を知る 人々からこれまでの活動報告を行い、今後の取組み について意見交換を行った。	234 名
第 3 回 (H24)	H25.2.2(土)	秦野市立本町公 民館大会議室	「地域主体の取組み」をテーマに、丹沢大山の自然 再生に向けた様々な主体の取組の報告を行い、意見 交換を行った。	85 名
第 4 回 (H25)	H26.2.2(日)	ソレイユさがみ セミナールーム	「相模原市などの北丹沢における取組みについて、 これまでの活動報告を行い、今後の取組みについて 意見交換を行った。	51 名
第 5 回 (H26)	H27.12.13(日)	神奈川県立生命 の星・地球博物 館	「森林・登山・山里再生」をテーマに、丹沢大山 の自然再生に向けた様々な主体の取組の報告を行 い、意見交換を行った。	128 名
第 6 回 (H27)	H26.12.23 (水・祝)	かながわ県民セ ンターホール	丹沢大山国定公園の指定 50 周年を記念し、これま での自然再生活動に関する報告やパネルディスカ ッションを行った。	215 名
第 7 回 (H28)	H28.10.29(土)	厚木商工会議所 101 会議室	丹沢大山自然再生基本構想の作成から 10 年目の節 目を迎えたことから、これまでの自然再生の活動を 報告し、意見交換を行った。	109 名
第 8 回 (H29)	H29.10.15(日)	日本大学生物資 源科学部 2 号館 211 号室	「自然再生を担う多様な人材育成」をテーマに、自 然再生における環境教育や次世代の人材育成など をリードされている方から講演をいただくととも に、活発な活動を展開している地域の市立博物館や 大学及び NPO 法人での環境教育、森林学習への支 援活動などの取組みについても報告していただき、自 然再生を担う次世代の育成について意見交換を行 った。	165 名
第 9 回 (H30)	H30.12.15(土)	日本大学生物資 源科学部 2 号館 211 号室	丹沢大山の自然再生に関わる多様な主体の情報交 換の場として発展していくことを目的として、3 つ の分科会で口頭発表を行うとともに、参加者一同に 会してポスター発表を行った。	250 名

## 丹沢大山自然再生活動報告会実績一覧

区分	日時	場所	内 容	参加者数
第10回 (R1)	R1.12.14(土)	日本大学生物資源科学部 2 号館 211 号室	昨年度の報告会と同様に、丹沢大山の自然再生に関わる多様な主体の情報交換の場として発展していくことを目的として、ポスター発表を行うとともに、県からの取組み状況や成果を報告しシンポジウムを行った。	320 名



将来

丹沢大山自然再生の研究・活動の広範囲のフォーラム的場として発展

# 2021年度 丹沢大山自然再生活動報告会

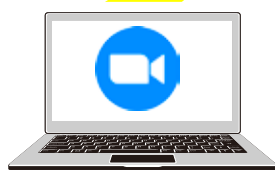


Zoom Meeting & Zoom Webinarにて開催

12月18日(土)

13:00~17:15

参加費無料



## プログラム(予定)

1 開会あいさつ 13:00~13:05

2 活動・研究発表-Zoom Meeting- 13:05~15:05

スライド発表またはポスター発表

発表後にZoom会場からの質問受付と回答があります。

3 休憩 15:05~15:35

4 総合討論-Zoom Webinar- 15:35~17:15

~近年起きている自然の脅威に対して、自然再生の取組はどこまで対応可能なのか?~

### (1) 発表

① 令和元年の台風による森林被害~水源かん養機能のモニタリングの視点から~  
内山 佳美 氏(神奈川県自然環境保全センター 主任研究員)

② 秦野市におけるナラ枯れ被害の状況と対策について  
北村 栄 氏(秦野市環境共生課 森林里山担当課長)

③ 丹沢大山登山環境意識調査から見たもの  
小林 昭五 氏(丹沢大山ボランティアネットワーク 世話人会代表)

### (2) 討論

5 終了 17:15

※お申し込みにつきましては、丹沢大山自然再生委員会ホームページ

(<https://tanzawasaisei.jp/>) をご覧ください。